

第86号

2012年3月1日発行



医療法人社団英明会
大西脳神経外科病院

〒674-0064

明石市大久保町江井島

1661-1

TEL 078-938-1238

FAX 078-938-1236

地域医療連携室

TEL 078-938-1288

FAX 078-938-0399

www.onc.akashi.hyogo.jp/

info@onc.akashi.hyogo.jp

O's news

オーズニュース



特発性正常圧水頭症について

脳神経外科 福留 賢二

年をとると、歩くのが不自由になったり、物忘れが多くなったりすることがあります。しかし「年のせい」とあきらめなくて、頭の検査をすることをお勧めします。正常圧水頭症は、頭の中や脊髄の表面を流れる、髄液と呼ばれる水が、脳の中心にある脳室と呼ばれる場所に溜まり、周りの脳を圧迫することにより、歩行障害、物忘れ、失禁などが生じる病気です。水頭症は、脳腫瘍、くも膜下出血などでも発生し、また子供にもみられます。今回お話する水頭症は、お年寄りで、しかも明らかな原因がわからない、特発性正常圧水頭症と呼ばれる病気です。

正常圧水頭症はお年寄りに多く、65歳以上の日本人のおよそ100人に1人に見られるとの報告があります。歩き方は、足を左右に広げ、すり足や小刻みな歩き方となります。物忘れはありますが、アルツハイマー病のような徘徊は認められません。CTまたはMRI検査で髄液の溜まりが、脳の中心部に多く、脳のでっぺんに緊満感が見られる場合、正常圧水頭症の可能性が高くなります。

次の段階の検査は、試しに溜まった髄液を抜いてみるタップテストと呼ばれる検査になります。腰に局所麻酔をし、そこから細い針を刺し、髄液を30 ccほど抜いて反応をみます。症状が1~2日程度で軽くなる場合、手術が考慮されます。

手術は脳室に溜まった髄液を本格的に流すシャント手術と呼ばれる手術です。全身麻酔下で、頭蓋骨に1円玉ほどの小さな孔を開け、直径2mmほどのシリコン製チューブを、脳室に入れます。このチューブを、頭の皮の下から、首からお腹の皮膚の下を通し、最後に腸の脇に入れます。傷は全部で4箇所ほどの小さなもので済みます。頭の中で余計に溜まった髄液は、このチューブを伝ってお腹に流れ、お腹の中で再び体に取り込まれます。髄液の流れを調節するバルブが途中に付いており、術後に症状の治り具合やCTなどの写真を参考にして、皮膚の上からバルブの圧力を磁石で調節します。シャント手術は、腰からお腹の中へ髄液を流す方法もあります。

手術の効果は、歩行の改善が90%、物忘れと失禁の改善が50%程度です。中には劇的に生活レベルが改善する人もいます。病気が進行してしまうと、治療効果が少なくなりますので、早めの受診をお勧めします。

大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

1. 生命と人権を尊厳した医療を実践する。
2. 神経疾患の専門的・高度医療を実践する。
3. 常に新しい医学の修得に励む。
4. 救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。
5. 地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する。

患者さまの権利と責務

1. ご病気になられた場合は、私どもの良好な信頼関係のもと、平等・公平に当院における最高の医療をお受けいただく権利があります。
2. ご病気に関しては、わかりやすく納得いく説明を受け、治療をお受けいただく権利があります。
3. ご自身の診療記録については、開示を求める権利があります。適当と判断できれば、ご本人、あるいはご家族に診療記録を開示いたします。
4. また、その診療情報が他人に漏れないように求める権利もあります。
5. 治療方針については、第三者の意見を聞くことができる権利があります。その場合、私どもは、必要とされる医療情報の全てを提供いたします。
6. 私どもが、上記のことを達成し、良質で安全、効率的な医療をご提供するために、患者さまには、次のことをご守りいただきますようお願いいたします。
 - ①ご自身の健康に対する正しい情報の提供と、医療への積極的な参加
 - ②他の患者さまの診療に支障をきたさないためのご協力

お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参下さい。

紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参下さい。

JR大久保駅～山陽電鉄江井ヶ島駅間で無料送迎バスを運行しています。

受診予約はかかりつけの診療所からしていただけます。詳しくは地域医療連携室まで。

駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡しします。

言語聴覚士って職業、ご存じですか…？

言語聴覚士 長岡 綾子

当院の言語療法は、主に言語障害と嚥下機能障害、高次脳機能障害の患者を対象に訓練・治療を行っています。

失語症や構音障害を呈した言語障害に対して、コミュニケーションの確保をするために、「話す」「聴く」の評価を行い、その方のレベルに併せた治療・訓練を行います。また、食物を飲み込むことが難しくなる摂食・嚥下障害に対しては発症当日より、ベッドサイドにて摂食・嚥下評価を行います。姿勢や形態食（ゼリー食やペースト食など）の調整を行うことにより経口から食事ができる方、唾液の処理が難しい方など、患者様の障害像はさまざまであり、個々によって訓練や対応内容は変わります。必要に応じて退院後の言語訓練や高次脳機能訓練・評価に加え、聴力検査や脳ドック、物忘れ外来も行っています。

外来担当医表

(H24.4)

	月	火	水	木	金
1診（午前）	大西(英)	埜本	久我	林	兒玉
（午後）	埜本	大西(英)	久我	林	兒玉
2診（午前）	担当医	山下	茶谷	埜本	福留
（午後）	担当医	山下	—	—	脊髄外来
3診（午前）	神経内科・上田	神経内科・服部	大西(宏)	弘田	担当医
（午後）	神経内科・上田	神経内科・服部	担当医	弘田	担当医
5診（午前）	内科・竈門(カド)	内科・竈門(カド)	担当医	内科・竈門(カド)	担当医
（午後）	内科・竈門(カド)	内科・竈門(カド)	担当医	内科・竈門(カド)	担当医
6診（午前）	—	鈴木	—	—	—
（午後）	—	鈴木	—	—	—

※診察受付時間：月～金 午前8：30～11：30、午後13：30～16：30

連携協力医療機関のご紹介

深水内科医院

院長 深水 真知子

＜深水院長からのメッセージ＞

食事・運動療法による生活習慣の改善及び信頼できる医療機関との連携にて、より良い地域医療を目指します。

診療科目 ★ 内科、消化器科
住 所 ★ 神戸市垂水区多聞台4-14-8
電 話 ★ 078-782-0016

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~11:30)	○	○	/	○	○	○	/
午後(1:30~3:30)	○	○	/	○	○	/	/

※全日 予約制

連携協力医療機関のご紹介

竹田内科クリニック

院長 竹田 武彦

＜竹田院長からのメッセージ＞

一般内科の他、気管支喘息や鼻炎などのアレルギー疾患の診療、在宅医療も行っております。

診療科目 ★ 内科、アレルギー科
住 所 ★ 明石市西明石南町2-2-5
池内西明石ビル4F
電 話 ★ 078-921-5151

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(4:00~7:30)	○	○	/	○	/	○	/

※土曜日の午後の診療は2:00~5:00となります